

コンゴ(民)月例報告
政治関連
2018年4月

主な出来事

- 独立国家選挙委員会(CENI)が使用を予定している投票機器を製造する韓国のミル・システムズ社に対し、当地韓国大が反対の立場であるとする記事が「Jeune Afrique(2018年4月1～7日号)」に掲載された。
- 9日、北キブ州のヴィルンガ国立公園で、同公園のレンジャー6名が待ち伏せ攻撃を受けて殺害された。
- 20日、最高法院は、3月28日に行われたマニエマ州知事・副州知事選挙に関し、大統領多数派(MP)候補を破って当選したトゥンダ氏は伝統的首長(公務員)であり、当選は無効とする判決を行った。
- 21日、コンゴ(民)政府/UDPS/チセケディ家の3者代表は、故チセケディ前 UDPS 党首の葬儀に関する実行委員会の設置を決定した。故チセケディ前党首の遺体は国会議事堂に48時間安置され、その後、ンセレ(N'Sele)のチセケディ家所有地に埋葬される予定。
- 30日、ベルギーは、コンゴ(民)駐劄特命全権大使の召還を決定したと発表した。

1. 内政

(1) 政府が2020年までの MONUSCO 撤退を要求

・3日、シェ・オキトウンドゥ外相は記者会見で、MONUSCO は2020年までにコンゴ(民)から撤退するよう求めるよう発言した。

(2) カトゥンビ元カタンガ州知事の外人傭兵雇用疑惑に関する判決が6月末に予定

・4日、コンゴ(民)司法当局は、カトゥンビ元カタンガ州知事の外人傭兵雇用疑惑に関し、今年6月26日もしくは27日に最高法院で判決が行われると、カトゥンビ氏の弁護士に伝えた(4日付 AFP)。

(3) 憲法裁判所の裁判官2名が辞任

・9日、3年ごとに3名の裁判官が交代する期限を前に、2名の裁判官(Jean-Louis Esambo、Banyaku Luape)が辞任を表明した(9日付 AFP)。

(4) カビラ大統領が250名以上の行政官を罷免及び解任

・16日、カビラ大統領は、250名以上の行政官(magistrats)に対し、選抜試験を通過していない、偽造証明書等で職に就いた等の理由で罷免もしくは解任する行政命令を出した。

(5) 故エチエンヌ・チセケディ前 UDPS 党首の葬儀実行委員会の設置

・21日、コンゴ(民)政府/UDPS/チセケディ家の3者代表は、故チセケディ前 UDPS 党首の葬儀に関する協議を行い、9名から構成される実行委員会の設置を決定、合同コミュニケに署名した。政府は故チセケディ前党首の遺体と家族のために、ブリュッセルからキンシャサまでの特別機を手配する。遺体は国会議事堂に48時間安置され、その後、ンセレ(N'Sele)のチセケディ家所有地に埋葬される予定。

(6) マニエマ州知事・副州知事選挙のやり直し

・20日、最高法院は、3月28日に行われたマニエマ州知事・副州知事選挙に関し、大統領多数派(MP)候補を破って当選した独立候補のプロスペール・トゥンダ氏(伝統的首長)の当選を無効とする判決を行った。伝統的首長は公務員であり、州知事選挙への立候補は違反というのが判決理由。

(7)野党の動向

ア カブンド UDPS 幹事長の辞任

・10日、カブンド UDPS 幹事長はフェリックス・チセケディ UDPS 新党首に辞表を提出した。新幹事長は新党首が指名する(11日付 Le Phare 紙)(5月6日、カブンド氏は再度 UDPS 幹事長に指名された)。

イ 主要野党プラットフォームが投票機器の使用反対に関するコミュニケを発表

・11日、当地の主要な野党プラットフォーム(UDPS/Allie、UNC/Allie、Ensemble、MLC/FRC、CNB/SYENCO)が会談を行い、独立国家選挙委員会(GENI)が採用を予定している投票機器(machine a voter)への反対等を表明するコミュニケを発表した。同コミュニケでは韓国政府に対し、投票機器を納入するミル・システムズ社と GENI の契約を取り消させるよう求めている。

2. 外交

(1)ガコンゴ・コンゴ(共)外相がカビラ大統領を訪問

・9日、ガコンゴ・コンゴ(共)外務・協力・在外コンゴ人大臣が、25日にブラザビルで開催予定されるコンゴ盆地の森林に関する首脳会議のサス・ンゲソ大統領からの親書を携えて、カビラ大統領を訪問した。

(2)外務副大臣が北朝鮮代表団と会談

・10日、マテンボ外務副大臣は、ソン・セイル(Song Se Il)アフリカ・近東・ラテンアメリカ局長率いる北朝鮮代表団と会談し、経済、文化、教育、医療、ハイテク分野における両国の協力関係再活性化及び強化について意見交換を行った(11日付 ACP 紙)

(3)カビラ大統領のアンゴラ訪問

・24日、カビラ大統領は SADC ダブル・トロイカ首脳会合のため、ルアンダを訪れた。

3. 東部及び大湖地域情勢

(1)北キブ州でカトリック聖職者に対する犯罪の連発

・1日、北キブ州ルチュル地区で、イースターのミサを終えたンガンゴ神父が何者かに誘拐され、50万ドルの身代金が要求された。6日、同神父は身代金と引き替えに釈放された。支払われた身代金の額は不明(3日及び6日付 AFP)。

・8日、北キブ州マシシ地区キャエンバ(Kyahemba)で、ミサを終えたセンギユンヴァ神父がマイマイ・ニャトゥラ(フツ族系のマイマイ(マイマイは自警団的な性格をもった武装集団))と思われる何者から頭部に銃弾を受け死亡した(8日付 AFP)。

(2)イツリ州で元 M23 兵士が逮捕

・5日、コンゴ(民)国軍(FARDC)報道官は、イツリ州で、ウガンダから越境した元 M23兵士と思われる5名を逮捕したと発表した(5日付 AFP)

(3)北キブ州ヴィルンガ国立公園のレンジャー6名が殺害される

・9日、北キブ州のヴィルンガ国立公園報道官は、同公園のレンジャー6名が待ち伏せ攻撃を受け

て殺害されたと発表した(9日付 AFP)。

(4)北キブ州ベニ地区の状況

- ・20日、MONUSCO は、北キブ州ベニ地区で、コンゴ(民)国軍(FARDC)の対 ADF(民主同盟軍、ウガンダ系反政府武装勢力)作戦に関し、16日と17日に、ヘリコプターでの軍事支援を行ったと発表した。
- ・20日、ベニ地区トゥングドゥ(Tungudu、ベニ市から50キロ)で ADF に殺害されたとみられる市民2名の遺体が発見された
- ・21日、FARDC 報道官は、ベニとカシンディを結ぶ幹線道路で、ADF によるとみられる待ち伏せ攻撃に遭った市民5名が殺害されたと発表した。

4. その他地域情勢

南ウバング州でコンゴ(共)に避難しようとした住民40名以上が水死

- ・22日、南ウバング州モバンボ(ドンゴの南東45キロ)で、鉞などの刃物で武装した何者かがコンゴ(民)国軍(FARDC)の陣地を攻撃した。この攻撃がエニエレ族によるものとの噂からパニックに陥った住民が小舟に乗り、強い雨と雷の中、ウバング川対岸のコンゴ(共)に逃げようとし、船の転覆により、25日夜までに、40名の水死体が収容された。すでに下流に流されている遺体も多く、正確な犠牲者数は不明(27日付 AFP)(当館注:南ウバング州では2009年に、養殖池をめぐる土地問題からエニエレ族とモンザヤ族の民族紛争が勃発し、270名が死亡、約20万人がコンゴ(共)等へ難民として逃れた。)

5. その他

(1)当地韓国大による投票機器に関する説明

- ・「Jeune Afrique 第2986号(2018年4月1~7日号)(以後「JA」)」は、CENI が使用を予定している投票機器に関する当地韓国大のコメント等を掲載した。韓国大は JA に対しメールで、投票機器を製造する韓国のミル・システムズ社(Miru Systems)に反対の立場であることを表明した。

(2)英国外務・英連邦閣外大臣(アフリカ担当)のコンゴ(民)訪問

- ・12日、3日間のコンゴ(民)訪問を終えたポールドウィン(Harriett Baldwin)英国外務・英連邦閣外大臣(アフリカ担当)が記者会見を行い、英はコンゴ(民)の人道支援向け支出を31百万ドルに増額すると発表した。また投票機器については、これまでに実験を行う時間が無く、意見を述べるのは時期尚早であると慎重な回答をおこなった。

(3)ベルギーがコンゴ(民)駐箚特命全権大使の派遣を停止

- ・30日、ベルギー外務省報道官は、2国間関係及びにコンゴ(民)における各種の状況に鑑み、コンゴ(民)駐箚特命全権大使を召還することを決定したと発表した。なお、在コンゴ(民)ベルギー大使は、1月末から本国に戻っていた(30日付 AFP)。